

科目	英語 (English)		
担当教員	上垣 宗明 准教授		
対象学年等	都市工学科・2年・通年・必修・4単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	B3(80%) D2(20%)		
授業の概要と方針	1年で学習した内容を確実にしたうえで、さらに4技能のバランスにも配慮しながら、2年次として必要な英語力を総合的に身につける。演習科目でもあるので、予習(テキストの下読みと語彙を辞書で確認)と復習(授業内容の確認)を必ず行い、また授業に積極的に参加し、発言することが期待されている。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【B3】英語の発音記号が正しく読める。		英語の発音記号が指示する単語が読み取れるかを中間・定期試験で評価する。
2	【B3】2年次レベルの語彙を習得する。		2年次レベルの語彙を習得できているかを、中間・定期試験および演習で評価する。
3	【B3】2年次レベルの文法項目を習得する。		2年次レベルの文法項目を理解しているかを、中間・定期試験および演習で評価する。
4	【B3】2年次レベルの英語長文を正しく解釈できる。		2年次レベルの英語長文を正しく解釈できるかを、中間・定期試験および演習で評価する。
5	【D2】英文を通して、外国の人々の文化、生活様式、物の見方が理解できる。		外国の諸事情について、知識が豊かになったかを中間・定期試験、演習で評価する。
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験70% レポート・演習30% として評価する。100点満点で、60点以上を合格とする。		
テキスト	「BIG DIPPER English Course II」：森岡 裕一ほか10名著（数研出版）		
参考書	「チャート式デュアルスコープ総合英語」：小寺茂明監修（数研出版） 「やさしい英語の発音」：原岡笙子著（語研） 「絵でわかる前置詞の使い方」：久保清子著（明日香出版社）		
関連科目	本科目は、1年次英語及び、3年次英語、英語演習に関連する。		
履修上の注意事項	英和辞典、または電子辞書を持参すること。		

授業計画 1 (英語)

週	テーマ	内容(目標, 準備など)
1	Introduction	1年時で学習した内容を復習する。
2	Lesson 1 Everyone makes mistakes	Reading: 語学上達への道, 間違いを恐れないという姿勢について Grammar: S+V+C, S+V+O+O, S+V+C(C=過去分詞), S+V+O+C.
3	Lesson 1 Everyone makes mistakes (2)	第2週と同じ。
4	Lesson 2 Sports Trivia (1)	Reading: 様々なスポーツの話題に触れ, それらの意外な事実を知る。Grammar: 関係代名詞, 関係副詞, 関係詞の継続用法。
5	Lesson 2 Sports Trivia (2)	第4週と同じ。
6	Function 1 What are you going to do this weekend?	予定や意図を表す表現(～するつもりです。be going to ～など)。
7	Lesson 3 The Magic of Color (1)	Reading: 色の効果や日常生活と色の関わり合いについて。Grammar: 受身, S+V+C(C=wh-節), 現在完了進行形, S+V+O+O(O=that-節)。
8	中間試験	これまでの学習内容の理解を問う。
9	Lesson 3 The Magic of Color (2)	中間試験の解答と解説。Lesson 3の続き: 第7週と同じ。
10	Lesson 4 Living with Animals (1)	Reading: 動物園のあるべき姿について, パラグラフとトピックセンテンスを意識して読む。Grammar: It seems that-, 仮定法過去, 受動態の分詞構文。
11	Lesson 4 Living with Animals (2)	第10週目と同じ。
12	Function 2 Senses are what we use to know ourselves.	説明をする表現(～は～をするものです。what we use to-)。
13	Reading 1 White Lion	英語落語を登場人物の気持ちになって読み解く。
14	Lesson 5 The Capricious Robot (1)	Reading: ロボットの役割について考える。Grammar: S+V+O+C(C=過去分詞), 完了不定詞, Ifのない仮定法。
15	Lesson 5 The Capricious Robot (2)	第14週目と同じ。
16	Lesson 6 The History of Light (1)	前期定期試験の解答と解説。Reading: 光の役割と私たちの生活について考える。Grammar: 推測, 形式主語, 助動詞+have+過去分詞, 同格を表すthat。
17	Lesson 6 The History of Light (2)	第16週目と同じ。
18	Function 3 She Has Probably Heard the News.	確かさを表す表現(おそらく, may be, should, must, possibly, certainly, probablyなど)。
19	Lesson 7 The World of Hiroshige (1)	Reading: 「東海道五十三次」にみる歌川広重の絵の特徴について。Grammar: 時間的順序, with+O+過去分詞, 省略, 未来進行形。
20	Lesson 7 The World of Hiroshige (2)	第19週目と同じ。
21	Lesson 8 Wangari Maathai: 80, 000 from 1 (1)	Reading: マータイさんの活動や言葉から環境保全について考える。Grammar: 形式目的語I (to-不定詞), 未来完了, 形式目的語II (that-節)。
22	Lesson 8 Wangari Maathai: 80, 000 from 1 (2)	第21週目と同じ。
23	中間試験	これまでの学習内容の理解を問う。
24	Function 4 I'm Sorry to Have Kept You Waiting.	中間試験の解答と解説, 人に謝る表現と理由を表す表現(～してごめんなさい。Excuse me, I'm sorry, Pardon など)。
25	Lesson 9 Education for All (1)	Reading: 世界の子供たちの事例から学校教育について考える。Grammar: 言い換え, 強調構文, 仮定法過去完了, S+V+C(C=that-節)。
26	Lesson 9 Education for All (2)	第25週目と同じ。
27	Lesson 10 The Bridge between East and West (1)	Reading: シルクロードの時代が現代までのネットワークについて考える。Grammar: つなぎ表現, 継続用法whichの復習, 過去完了進行形, no matter where。
28	Lesson 10 The Bridge between East and West (2)	第27週目と同じ。
29	Function 5 I Can See Your Point of View.	意見を聞いて賛成・反対を表す表現(I don't agree with ～, I'm afraid that ～など)。
30	Reading 2 All the Good Things	アメリカの学校の先生が書いたエッセイを読み, 教え子が大切にしていたものは何か考える。
備考	前期, 後期ともに中間試験および定期試験を実施する。	